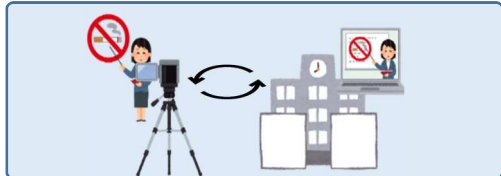


令和3年度 of 取組予定について

働き世代・健康無関心層に向けたアプローチ

実施事業	1 休日のショッピングセンターでの健康啓発 2 健康増進アプリ (BIWA-TEKU) の導入																			
事業概要	1 40 歳代 50 歳代の働き盛り世代、健康無関心層を対象に休日のショッピングセンターで健康相談を行い行動変容を促す。 2 健康増進アプリ (BIWA-TEKU) を導入し、運動習慣のきっかけづくり・動機づけ支援を行う。																			
内 容	これまでの集合形式の健康講座・健康教育を実施していたが、40 歳代、50 歳代の働き盛り世代、健康無関心層などへのアプローチが十分ではないことが現状分析や各計画の課題より明らかとなったため、これらの人に向けて以下の活動を実施する。 1 休日のショッピングセンターでの健康啓発 (働き盛り世代、健康無関心層へのアプローチ) 【概要】 市内のスーパーマーケットで野菜摂取量測定会（カゴメベジチェック使用）・管理栄養士による栄養指導を実施。 2 週間後に再度測定会を行い、行動変容を確認する。 【実施時期】 令和 3 年 9 月から 12 月までの間（計 16 回の予定） 【実施予定人数】 1,600 人 2 健康増進アプリ (BIWA-TEKU) の開始 【概要】 コロナ禍における外出自粛により運動不足となる人が増加するなか、スマホを活用し、自分で気軽に参加でき、健康への意識づけが期待できる健康増進アプリを活用。参加者は溜まったポイントに応じて賞品 (インセンティブ) へ応募でき、動機づけを図る。 【実施時期】 令和 4 年 1 月（予定） 【参考】 もりやま健康フェスティバル（※）参加者数 <table><tr><td></td><td>H 29</td><td>H 30</td><td>R 1</td><td>R 2</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>418</td><td>333</td><td>実施</td><td>実施</td></tr><tr><td>開催時期</td><td>7 月</td><td>9 月</td><td>なし</td><td>なし</td></tr></table> ※もりやま健康フェスティバルは、守山市民病院と共催で実施していた健康イベント。年に 1 回のイベントで参加者は健康関心層が多かった。						H 29	H 30	R 1	R 2	参加者数	418	333	実施	実施	開催時期	7 月	9 月	なし	なし
		H 29	H 30	R 1	R 2															
参加者数	418	333	実施	実施																
開催時期	7 月	9 月	なし	なし																
課 題	・健康に無関心な人などの参加啓発方法 ・短期的な期間での個々人の行動変容は確認できるが、長期的（継続的）な視点での行動変容の確認が難しい ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮したイベントの開催 ・スマホなど活用できない人へのアプローチならびに健康啓発 ・庁内実施イベントとの連携																			

令和3年度の取組予定について					ICTを活用した健康づくりの推進					
実施事業	1 オンライン健康教育 2 オンラインシステムを用いた遠隔健康相談・保健指導 3 健康講座の配信による健康啓発									
事業概要	1 オンラインによる健康教育（例：小中学校での防煙教育など）を実施する。 2 オンラインシステムを用い、健康相談・保健指導（例：禁煙相談、こころの相談、特定保健指導など）を実施する。 3 健康講座（例：ゲートキーパー研修、離乳食の進め方講座など）を配信し、健康啓発を行う。									
内 容	新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度まで実施できていた集合形式での健康教育や健康指導などが中止・延期せざるを得ない状況となった。新しい生活様式を踏まえ、相談者や受講者が参加し易く、利便性を高めた健康づくりの推進を行う必要があるため、これまでの実施形態に加えて ICT を活用した健康相談・健康教育を実施する。（安全安心メールや子育てタウンアプリを活用した随時・即時の情報提供は継続して実施する）									
	【参考①】学区民のつどい （守山市内7学区で実施される学区民に向けたイベント。）				【参考②】特定保健指導 （特定健診受診者で、生活習慣病のリスクが高い者に対して行う指導。）					
	■健康イベントブース来場者数									
	年 度		H29	H30	R1	R2				
	参加数		181	123	356	実施なし				
						年 度	H29	H30	R1	R2
						修了者数	189(51.6%)	192(54.2%)	174(51.6%)	150(39.8%) ※速報値
		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が流行していたことから、保健指導対象に対する訪問を控えたことや、保健指導申込みが少なかった。								
1 オンライン健康教育		2 遠隔の健康相談・保健指導			3 健康講座配信					
【概要】 オンラインによる健康教育を実施し、気軽参加でき、感染防止を徹底した健康教育を実施する。 （例：防煙教室、特定保健指導など） 【実施時期】 随時		【概要】 オンラインシステムを活用し、気軽に身近に日常生活における相談業務を行う。 （例：発育/発達/離乳食、食、こころ、口腔など） 【実施時期】 随時			【概要】 守山市公式 Youtube チャンネルで健康講座を配信し、いつでも何処でも受講できる体制を構築する （例：ゲートキーパー研修、離乳食講座など） 【実施時期】 随時					
										
課 題	・外出や対面での健康教育等の実施ができず、かつ ICT 環境が整わない人へのアプローチ。 ・対応が一方通行になり、相手の反応がわかりにくい。 ・気軽に参加できる方法、参加率や視聴数の向上。									

